

搬送ベルト知っとく情報

(06年/05月) 28

発行：吉野ゴム工業(株)

情報発信部 中平

～ ベルトコンベヤ設備をお持ちの皆様にお役に立つ情報をお届けします～

役立つワンポイント情報

【コンベヤ保守の災害について】

ベルトコンベヤ設備は回転体、可動部が多く存在し、危険な要素がたくさんあります。

それらは安全カバーで保護されている又は、稼動中立ち入り禁止が原則であるが、保守メンテナンス時には、カバーを外し操作する必要があります。特に蛇行調整は運転しながらでないと、調整は困難です。



災害例として

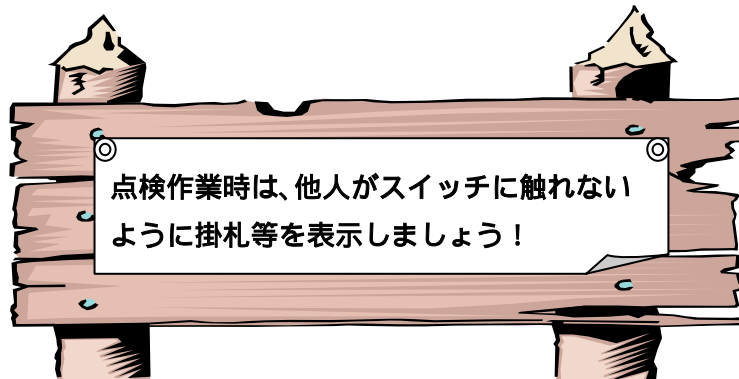
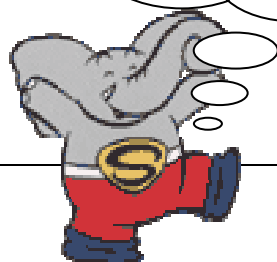
- 点検窓を開けた際、搬送物が飛び出てくる
- 停止しているベルト上で点検作業時、突然ベルトが動き出す
- 運転しながらローラプールのケーク除去作業中に身体が巻き込まれる
- ローラ・ベアリング回転不具合放置による摩擦火災
- ベルト入替え時にベルトが落下する
- 漏電、感電
- 高所からの墜落

などこれら以外にも様々な要因が考えられます。

「1：29：300 ハイソリッヒの法則」は有名な話ですが、ヒヤリハットは誰もが経験していると思います。300のヒヤリハットがあれば、29の軽度の災害があり、その上には1の重災害があります。これは過去の統計上導かれた数値であり、普段は注意深く作業を行っていても、災害は忘れた頃にやってきます。

危険を予知し「大丈夫だろう」の作業は、絶対にやめるべきです。作業者一人一人の意識により、災害を防止することは可能だと思えます。<御安全に！>

コンベヤのメンテナンス
点検 承ります。



吉野ゴム工業株式会社

TEL 06-6461-6937 (大阪) TEL03-3883-7159 (東京)

URL <http://www.yoshino-rubber.co.jp>

搬送ベルトのことならお気軽にご相談下さいませ。当社工場はISO9001 認証取得致しております。